



大内中だより

さつきの丘

Webページはこちら→

令和7年3月3日
第44号



大内中学校区「小中合同会議」2回目を開催

2月28日（金）の午後に、生徒会や児童会の代表児童生徒による小中合同会議をオンラインで開催しました。今年度取り組んできた「あいさつ運動」等の活動を振り返りました。その中で、アウトメディア期間の延長、各学校周辺でのゴミ拾いの実施、あいさつ運動の改善といった提案がありました。どの提案も、現状に満足することなく、学校生活をよりよくする方法や、学校や地域のためになる活動を模索する内容でした。

地域の皆様には、これまでの児童生徒の活動へのご協力に感謝申し上げますとともに、引き続きご支援くださいますようお願いいたします。



3年生から、1、2年生への激励メッセージ（生徒総会にて）

3年A組の1年間で成長した所の1つ目は、授業中や授業外での学習への意欲が高まったことです。例えば、授業中では先生からの問いかけへの反応が以前に比べて良くなったり、授業外ではクラスメイト同士で問題を出し合ったり、苦手分野を教え合ったりすることができました。他にも、昼休みに自主的に面接練習をするなどして、高校入試へ向けてクラス一丸となって頑張ってきました。2つ目は、行事に意欲的に取り組めたことです。運動会は、団ごとに応援を一から創り上げ、大中祭ではクラス全員で有志発表に出たり、他にも多くの場面で楽しみながら積極的に取り組み学校全体を盛り上げたりして貢献できたと思います。

僕たちがこの1年間で学んだことは、「自分達から積極的に行動すること」の大切さです。何か自分達から動き出さないと何も生まれませんし、つまらなくなってしまいます。僕たちは、自分たちで「やってみよう」と思ったことを、どんどんやってみました。例えば、僕は学級委員長に挑戦してみよう、失敗もたくさんあったけど、今の僕をよりよくしてくれる経験になりました。ある人は動物クイズをやってみようと思い、全校生徒を楽しませてくれたし、また別のある人は、ずっと漫才に取り組んでいて、その漫才は、学年のみんなの楽しみの1つになっていたと思います。3年A組全員で有志発表に出たことも、クラスの一体感を感じて、自分たちにとって最高の思い出になりました。そういう挑戦の中で、お互いのよさを知ることできました。だからこそ、僕たちの学校生活はとても充実していたし、（学級）スローガンにあるとおり、最後の時間を全力で楽しむことができました。だから1、2年生の皆さんも、自分達からどんどん積極的に行動して、大内中での生活を全力で楽しんでください。それが成功だったらそれでいいし、失敗だったらそこから学んで次に生かして、自分たちの学校生活を自分たちで充実させてください。

3年A組学級委員長 ○○ ○○○

3年B組が1年間で成長したところは、自分で物事を判断して行動する力が2年生の頃に比べて向上したところです。その理由として、受験生としての自覚が強くなったというのがあると思います。3年生の春から受験を意識した生活になりました。生活している中でずっと受験が頭の片隅にあり、受験生としての行動を意識したことで、成長につなげることができました。行事では積極的に案を出し合い、行動することができました。特に、運動会の応援では振り付けなど話し合い、最高のものにすることができました。

後輩の皆さんには、「何事にも挑戦してみたい」と思います。何でも最初は失敗することがあります。でも、その過程は絶対に誰かが見てくれていて、一人でどうしようもないときは助けてくれます。私も、初めて委員長になった時、右も左も分からない状態でしたが、先生やクラスメイトに助けをもらって、今まで委員長を続けることができました。もう一度言いますが、何かを行う過程は絶対に誰かが見てくれていて、だから失敗を恐れず挑戦してみてください。

3年B組学級委員長 ○○○ ○○